

# 科学・技術政策の「司令塔」に

C S T I

# 防衛省職員

総合科学技術・イノベーション会議（C S

T I）首相が議長を務め、閣僚、  
経済界出身の有識者らが「議員」と  
して参加。5年に1度「科学技術基本計画」  
(第1期1996年～)を策定し、各省庁への科  
学・技術関係予算の分配権限を持つ「司令  
塔」です。第2次安倍晋三政権は産業界の意  
向を強く反映する会議体へと改変（2014年）。  
第6期計画（21年～）で科学・技術を「総合  
的な安全保障の基盤」と位置づけ、国内外の  
研究動向の把握などを掲げています。

防衛省職員が出席して、  
たのは、内閣府の「科学技  
術・イノベーション推進事  
務局」。政府関係者は「一  
職として出向している」と  
しましたが、その職務内容  
については明らかにしませ  
んでした。

内閣府はC S T I主導で  
大学等研究機関の膨大な科  
学・技術の研究データベー  
スを保有しています。

岸田政権が昨年12月に閣  
議決定した新たな「国家安  
全保障戦略」では、「富國  
の先端技術研究の成績の防

衛装備品の研究開発等への  
積極的な適用、新たな防衛  
装備品の研究開発のための  
「防衛省・自衛隊の二  
ヶ所を踏まえ、政府関係機  
関が行っている先端技術の  
研究開発を防衛目的に活用  
していく」と明記。軍事優  
先の科学・技術推進を狙っ  
ています。

自民党国防議員連盟（会  
長：篠原征士郎・元防衛庁  
長官）は昨年6月に政府に  
提出した提言で、科学・技  
術の軍事動員のために政府  
の「研究開発の司令塔とな  
る組織」の新設や、C S T Iへの防衛相の常時参加を  
求めました。

日本科学者会議科学・技  
術政策委員会の野村康秀氏  
は、「安保3文書」を受け  
て、科学技術・イノベーシ  
ョン推進事務局の管理職に  
みづからや研究者の問い合わせ  
分などをC S T Iに押し付  
ける役割を果たすだろう  
と指摘します。

政府の「総合科学技術・イノベーション会議」（C S T I、議長：首相）の事務局に防衛省の職員が出席して  
いることが、本紙の調べでは3回までに分かりました。  
政府関係者が明らかにしました。C S T Iは科学・技  
術政策の「司令塔」で、国の科学・技術政策の予算配  
分など強い権限を持っています。また、日本学術会議  
の問題で、政府に組織のあり方の検討を求める報告書を  
出したことがあります。岸田文雄政権が掲げる民生技術の軍事  
動員の体制づくりが進んでくることを示しています。

## 民生技術の軍事動員狙う